

平成28年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月8日

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
 コード番号 2927 URL <http://www.ams-life.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長
 四半期報告書提出予定日 平成28年7月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 浅山雄彦
 (氏名) 白鳥弘之

TEL 054-281-5238

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第3四半期の連結業績(平成27年9月1日～平成28年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第3四半期	10,879	5.8	708	17.6	659	17.2	436	10.3
27年8月期第3四半期	10,281	△1.4	602	22.4	562	28.6	395	42.5

(注)包括利益 28年8月期第3四半期 403百万円 (1.7%) 27年8月期第3四半期 396百万円 (33.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年8月期第3四半期	36.09	35.98
27年8月期第3四半期	33.18	32.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年8月期第3四半期	16,166	7,310	45.2
27年8月期	17,266	7,088	40.8

(参考)自己資本 28年8月期第3四半期 7,310百万円 27年8月期 7,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年8月期	—	5.00	—	10.00	15.00
28年8月期	—	5.00	—		
28年8月期(予想)				10.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当金の内訳 記念配当 5円00銭

3. 平成28年8月期の連結業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	15,000	4.1	1,050	10.4	1,000	12.1	600	△0.9	49.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年8月期3Q	12,189,720 株	27年8月期	12,189,720 株
28年8月期3Q	80,903 株	27年8月期	144,703 株
28年8月期3Q	12,094,658 株	27年8月期3Q	11,929,099 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見直し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年9月1日～平成28年5月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益に改善が見られるなど緩やかな回復基調にはあるものの、世界経済の先行きに対する不透明感から株安・円高など不安定な状況となっております。

当社グループが属する健康食品市場は、インバウンド需要やスーパーフード、機能性表示食品が追い風となり回復基調となったものの、依然として、企業間の競争は広告投入による顧客獲得競争や価格競争の面で激しく、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループではOEM部門が酵素、酵母関連商品に加え青汁が好調に推移し増収となったことや、近年苦戦を強いられていた通信販売部門・店舗販売部門・卸販売部門においても、前年同期の売上高を上回ったことから、当第3四半期の連結売上高は10,879百万円（前年同期比5.8%増）となりました。損益面については、増収による売上総利益の増加により、営業利益は708百万円（前年同期比17.6%増）、経常利益は659百万円（前年同期比17.2%増）、親会社に帰属する四半期純利益は436百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①ヘルスケア事業

・OEM部門

主力事業である当部門は、安定的な受注が見込める定番商材の営業活動を積極的に行いました。引き続き、酵素・酵母関連商品や青汁などが好調に推移し、売上高は前年同期比5.4%増となりました。

機能性表示食品に関しては、届出を受理された7品目（5月末現在）の製造を予定しており、今後この勢いは加速すると期待しております。

・海外部門

アジア地域を主な取引先とする当部門は、引き続きイスラム圏での顧客開拓に努める一方、既存顧客への営業を強化いたしました。特に既存顧客へは取扱品目数を増やすべく新商品を提案したほか、受注数量を増やすべくシンガポールにおけるAFC代理店及びOEM顧客でのキャンペーンを実施しました。これら既存顧客への取組みが功を奏し、当部門の売上高は前年同期を上回る結果となりました。

・通信販売部門

インターネット販売をメインに『葉酸サプリ』が前年同期比150%と継続して伸長いたしました。また、同商品のクロスセル商品『ストレッチマーククリーム』や『はぐマカ』も好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

本年1月に刷新した「ポイントサービス」及び「定期お届けサービス」により、更なる顧客満足度の向上、顧客の囲い込みを図ってまいります。

・卸販売部門

中国人観光客向けの商材ならびに、中国やベトナム市場へ販売展開を行う卸先からの受注が好調に推移し、当部門の売上高は前年同期を上回りました。

主要販路であるドラッグストアや量販店のほか、スポーツジムなどへもAFC商品に加え、PB商品の提案を行うなど営業を強化しております。

・店舗販売部門

前期に続き、百貨店外商部、店舗において頒布会を積極的に提案し、優良顧客の囲い込みによる収益の拡大と安定化に努めました。また、中国人観光客を主体としたインバウンド需要に対応し広告の強化と販促物の充実を行った結果、酵素を中心とした商品が好調な売れ行きとなりました。さらに、消費者の普段の食事における健康意識の高まりを受け、青汁やスムージー、雑穀米などの食品形態に近い商品が伸長いたしました。その結果、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高9,925百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益1,114百万円（前年同期比21.5%増）となりました。

②医薬品事業

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品事業は、新たな取扱製品を投入したことに加え、主力の製造承認を取得した医療用漢方製剤40品目について、医師、薬剤師及び医薬品卸の営業担当者に対して、品質・安全性の確保に対する取り組みのほか、同業他社の製品と比べ効能効果の同等性が極めて高いこと及び患者さんの経済的負担（医療費の自己負担）が小さいことなどを説明してきました。

また、一般用医薬品事業についても、新製品の投入、リニューアルなど積極的な営業活動を行いました。

しかしながら、本草製薬㈱の医薬品ドラッグストア向け一般用医薬品及び医療用医薬品の売上高がともに前年同期を下回ったことや、㈱エーエフシーにおける不採算店舗の閉鎖が影響し、医薬品事業全体では、売上高が954百万円（前年同期比3.2%減）、営業損失28百万円（前年同期は47百万円の営業利益）（全社費用調整前）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,080百万円減少し、7,883百万円となりました。この減少要因は主として、有利子負債の返済を進めたことなどにより現金及び預金が438百万円、受取手形及び売掛金が334百万円、原材料及び貯蔵品が131百万円、流動資産のその他が210百万円減少したことによるものであります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ18百万円減少し、8,283百万円となりました。この減少要因は主として、無形固定資産のその他が89百万円増加した反面、減価償却などにより有形固定資産全体では114百万円減少したことによるものであります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,048百万円減少し、5,762百万円となりました。この減少要因は主として、支払手形及び買掛金が620百万円、未払法人税等が161百万円、流動負債のその他が273百万円減少したことによるものであります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ272百万円減少し、3,093百万円となりました。この減少要因は主として、発行により社債が204百万円増加した反面、返済により長期借入金が460百万円減少したことによるものであります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ222百万円増加し、7,310百万円となりました。この増加要因は主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が255百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年10月9日の「平成27年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物付属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,038,864	3,600,543
受取手形及び売掛金	2,089,549	1,755,418
商品及び製品	928,249	883,056
仕掛品	627,026	706,367
原材料及び貯蔵品	889,158	757,931
その他	396,062	185,212
貸倒引当金	△5,248	△5,431
流動資産合計	8,963,664	7,883,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,854,698	2,739,417
土地	4,243,457	4,243,457
その他（純額）	709,107	710,132
有形固定資産合計	7,807,263	7,693,007
無形固定資産		
のれん	5,101	4,336
その他	47,211	136,681
無形固定資産合計	52,313	141,017
投資その他の資産		
その他	471,797	477,105
貸倒引当金	△28,943	△27,572
投資その他の資産合計	442,854	449,533
固定資産合計	8,302,430	8,283,558
資産合計	17,266,094	16,166,657
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,199,227	1,578,998
短期借入金	2,979,149	2,947,779
未払法人税等	245,223	83,603
賞与引当金	93,700	163,800
ポイント引当金	41,000	9,124
その他	1,253,331	979,337
流動負債合計	6,811,631	5,762,642
固定負債		
社債	—	204,000
長期借入金	2,257,454	1,796,662
役員退職慰労引当金	364,545	376,904
退職給付に係る負債	223,684	233,551
負ののれん	3,379	2,957
その他	516,819	478,952
固定負債合計	3,365,882	3,093,027
負債合計	10,177,514	8,855,670

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,498	1,405,498
資本剰余金	1,473,171	1,469,539
利益剰余金	4,263,957	4,519,487
自己株式	△105,937	△59,229
株主資本合計	7,036,690	7,335,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,622	△24,308
その他の包括利益累計額合計	4,622	△24,308
新株予約権	43,550	—
非支配株主持分	3,716	—
純資産合計	7,088,580	7,310,986
負債純資産合計	17,266,094	16,166,657

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)
売上高	10,281,646	10,879,907
売上原価	7,223,579	7,608,618
売上総利益	3,058,066	3,271,289
販売費及び一般管理費	2,455,682	2,562,634
営業利益	602,383	708,654
営業外収益		
受取利息	249	249
受取配当金	19,690	847
受取賃貸料	14,791	13,962
負ののれん償却額	422	422
その他	6,736	8,993
営業外収益合計	41,891	24,476
営業外費用		
支払利息	72,743	60,786
その他	8,999	12,823
営業外費用合計	81,743	73,610
経常利益	562,532	659,519
特別利益		
固定資産売却益	—	58
投資有価証券売却益	32,911	2,703
ポイント引当金戻入額	—	14,584
新株予約権戻入益	876	539
特別利益合計	33,787	17,885
特別損失		
固定資産売却損	747	—
固定資産除却損	1,558	12,594
投資有価証券売却損	—	1,377
投資有価証券評価損	—	6,418
特別損失合計	2,305	20,390
税金等調整前四半期純利益	594,014	657,014
法人税、住民税及び事業税	220,418	222,279
法人税等調整額	△18,631	1,927
法人税等合計	201,787	224,206
四半期純利益	392,227	432,807
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,595	△3,716
親会社株主に帰属する四半期純利益	395,823	436,524

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)
四半期純利益	392,227	432,807
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	4,699	△28,930
その他の包括利益合計	4,699	△28,930
四半期包括利益	396,927	403,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	400,522	407,593
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,595	△3,716

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	9,296,010	985,635	10,281,646
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	9,296,010	985,635	10,281,646
セグメント利益	917,233	47,210	964,443

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	964,443
全社費用(注)	△362,059
四半期連結損益計算書の営業利益	602,383

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年9月1日至平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	9,925,693	954,214	10,879,907
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	9,925,693	954,214	10,879,907
セグメント利益	1,114,134	△28,769	1,085,365

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,085,365
全社費用(注)	△376,711
四半期連結損益計算書の営業利益	708,654

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。